めぐみ厚生センター センターだより

第　376　号
発行　2020年３月15日

佐賀市緑小路1－3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園　0952(34)7722
どりぃむ　0952(34)7727
E-mail　s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園　0952(63)0107
ウイズ富士　0952(51)0063
ピースハイム　0952(64)2012
E-mail　fuji-g@b2.bunbun.ne.jp
発行者　栗林恵一
印刷所　(株)古川総合印刷

ホームページURL　http://www.megumikousei-center.org/

「日々の診療で感じること」

みさかえの園
総合発達医療福祉センター　むつみの家
診療部長　近藤達郎

長崎県諫早市小長井町にある「みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家」で勤務をしている近藤達郎です。ここはもともと重症心身障害児・者施設として、当センターだけで入所者百七十名、短期入所十名を受け入れることができる比較的大きな施設です。もともと医療的ケアが強い方を対象としていることもあり、八～九名の医師が常勤として医療にあたっています。このむつみの家は昭和四十年にできていることもあり、利用される方も高齢化が進んでいます。平成二十年四月に現場所に新築移転をするに当たり、これまで入所されている方の健康管理が医療の中心であったものを、在宅の方でお困りの方の支援をする目的で、「総合発達外来」という障害の種類や年齢に関係なく少なくとも窓口となれる外来が作られました。

私はその頃長崎大学病院で小児科医として勤務しておりました。専門は「臨床遺伝」という分野で、ダウン症候群などの染色体に変化のある方々や遺伝性疾患をお持ちのお子様について色々な診療科と連携してその方向性をご家族と一緒に考えることが仕事です。長崎県には染色体障害児・者を支える会（バンビの会）があります。これは、患者家族のみならず医療関係、療育関係、教育関係、福祉関係の方々が入り込んでの連絡互助会的な意味合いを持ち、昭和六十三年に設立しました。私は平成十二年から会長を拝命しております。

長崎大学病院で勤務している時に二点感じることがありました。一つは、同じ病院でもそれぞれの診療科の壁がありそうで、連携をよりスムーズにする必要性を感じたことです。もう一つは、小児でもそうであれば、専門性がより高い成人期にはもっと問題がありそうということでした。その状況下でみさかえの園むつみの家の福田雅文施設長から「総合発達外来」の話しをお聞きし、当時、准教授を拝命していましたがその職を辞し、むつみの家に就職させていただくことを決意しました。

平成二十年四月より「総合発達外来」が始まってから十年余りが過ぎました。最近は神経発達症群（以前は発達障害と言われていました）が多いのですが、私が診療している遺伝性疾患患者は年間延べ千四百名程度です。年齢は0歳から六十歳代まで、長崎県内在住の方が七十五％、佐賀県の方が十五％、福岡県の方が八％程度です。ダウン症候群に限ると計四百名（未成年二百名、成年二百名）の方がお出でになっています。わざわざ遠方から当センターへお出でいただく理由として、やはり、医療だけではなく療育、福祉、教育、就労など様々な分野間での連携に問題がありそうです。

家族のどなたかの身体的・精神的体調がすぐれなくなると他の家族にも影響します。遺伝病であれ何であれ、折角授かった命を全うし、少なくともまずまずの人生だったと思え、ご家族にとってはその方がおられての家族で良かったと思える状況になればと願っています。ご両親やご兄弟におかれましては、ご自愛いただくことが重要です。社会全体も地域社会も誰にでも優しいものになればと思います。そのために何ができるのかを考える毎日です。今回、ダウン症候群に関するお話をめぐみ園でさせていただくご縁を得ました。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

めぐみ園

新年会、初開催！

一月八日(水)めぐみ園では新年会が初開催されました。これは令和元年ＮＨＫ歳末義援金を活用させて頂いたもので、利用者、職員皆で特製弁当を昼食に頂きました。

皆様からの温かいご支援に感謝申し上げます。

豪華なお弁当でした

～初釜～

一月十四日(火)に茶道の先生宅にお招きいただき、初釜をしました。

おせち料理や甘酒を「おいしいね」と言いながらお話をしてとても楽し気な利用者の方々。

お抹茶も美味しかったですね！

節分～鬼は外、福は内！～

二月五日(水)、めぐみ園でも節分行事、豆まきが行われました。当日は事前の活動で作った鬼のお面を被り、鬼に扮した職員に向かって「鬼は外～福は内～」と大きな声を出しながら豆を投げたり、笑顔でその様子を眺めたりと、思い思いに楽しまれていました。

鬼はそと～福はうち～

色とりどりのお面ができました！

講演会開催

一月二十四日(金)家族会主催の研修会「ダウン症候群の高齢化にともなう医療ケアとＱＯＬ改善のとりくみ」が、みさかえの園総合発達医療福祉センターむつみの家の近藤達郎氏を迎え行われました。

百名を超す参加者

救急救命法研修会開催

二月十四日(金)めぐみ園創作活動室にて救急救命法研修会が開催されました。今年も例年ご指導頂いている佐賀南部消防所より来園して頂き、ＡＥＤを使った心肺蘇生法や異物が詰まった場合の対処方法等を学びました。

一つひとつ丁寧に教えて頂きました！

桃の節句特製お弁当！

三月三日(火)、めぐみ園のひな祭り行事、桃の節句会が開催される予定でしたが、諸般の事情で開催中止となりました。しかしながら食堂内もひな祭りの飾りが飾られ、ひな壇には初めてさげもんが登場！

当日は栄養調理科の特製弁当を皆で楽しみました。

今年のお弁当も豪華！

多くの笑顔が見られました！

～華やかな雛飾り～

富士学園

企画食事

二月十三日(木)バレンタインデーの企画食事が行われました。タイトルは『生チョコ付き♡ピタっとランチ』です。

メインプロデューサーの石松氏！！

メニューは「ピタパン」「フライドポテト」「クラムチャウダー」「二種の生チョコ」などでした。ピタパンとは、直径二十センチ程の平たい円形のパンのことで、普段の食事ではあまり見られないメニューばかりで特別感があり、利用者の皆様も嬉しそうな様子で今回の企画食事を楽しまれていました。

いただきます♪

新年書初め

一月十三日(月)、新年の書初めを行いました。

皆様、それぞれ抱負や好きな言葉・絵を描いておられましたが、中には今年の干支（ネズミ）の絵を上手に描いた方もおられました。

還暦のお祝い

浅浦信之様が二月六日(木)に還暦を迎えられました。

翌日、ふれあい館にて記念の品を手渡され、皆様から祝福されました。

おめでとうございます！

ウイズ富士

節　分

二月四日(火)農芸科と五日(水)療護科節分の日の企画で豆まきを行いました。

鬼に扮した支援員に、皆さん表情は笑顔でしたが、豆を投げる時は全力で投げておられました。様々な思いで鬼を払いたいという気持ちが十分に伝わって来ました。

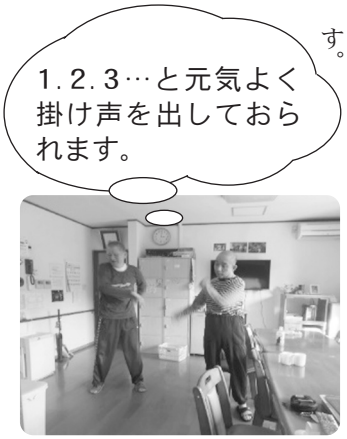
鬼を払った後は皆さん福の神のような満面の笑みで鬼に扮した支援員を労って下さり、心温まる企画となりました。

皆さん手作りのお面を作りました。

ピースハイム

休日の過ごし方(ラジオ体操)

ピースハイム富士Ⅱでは、休日のティータイム前にホームの皆様でラジオ体操に取り組んでおられます。ラジオから聴こえてくる軽快な掛け声に合わせ張り切った様子で身体を動かされています。



個別支援を兼ねて外出

入居者の方が『ゲームをしたい』と希望されたので、イオンシネマの並びにある『楽市楽座』のゲームコーナーに案内しました。

レースゲームを楽しまれました!!

ふれあい

富士学園ＡＥＤ園内研修会（富士学園・ウイズ富士）

二月二十八日（金）に富士学園のふれあい館にてＡＥＤの使用法を保健課が主体となって研修しました。真剣に機材の使用や心肺蘇生法を学び、研修を積み重ねることによって、緊急時に慌てることなく実践できるようにしたいと思います。

聖句

そこで、私は言っておく。求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

（ルカによる福音書十一章九節）

還暦のお祝い（めぐみ園）

十二月二十三日（月）濱崎雅彦さんの還暦祝いが行われ施設長より記念アルバムが手渡されました。

これからも健康第一でお過ごしください！

おめでとうございます！

退所のお知らせ（めぐみ園）

十二月二十七日付けで四十八年間めぐみ園で過ごされた田中智学さんが退園されました。

二月二十日めぐみ園で四十八年過ごされた山内順子さんがお亡くなりになりました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

地域の方へ花苗を配布しました（富士学園・ウイズ富士）

二月十六日（水）に日頃からお世話になっている地域の方々に感謝の気持ちを込めて、ウイズ富士の利用者の皆様が育てられた花苗（パンジー・ノースポール等）を富士町内の小中学校や保育園へ贈りました。

いつもご支援いただきありがとうございます。

皆様ありがとうございました（一月～三月）

◎めぐみ園へ

●張康宏様より　寄付

◎富士学園へ

●山代ガス㈱様より　寄付

何でもコーナー

スロージョギングを始めませんか？

運動不足解消や健康寿命を延ばそうとウォーキングしている人は多いと思いますが、歩くのと同じ速度の小刻みな歩幅でジョギングするトレーニングをご存じですか？

「心肺に負担をかけずに運動効果が高い」ニコニコペース運動を原点に確率したスロージョギングです。

ニコニコペースとは、おしゃべりしながら笑顔で走ることが出来るペース。つまり「きつくない」速さの有酸素運動です。体力アップや減量の効果とともに、高血圧や糖尿病といった生活習慣病の予防と効果の高さが立証されているそうです。

運動不足を痛感している人も、春から何かしたいと思っている人も、日常生活にすぐ取り入れられるスロージョギングを始めてみませんか。

あとがき

新型コロナウイルスの蔓延が心配されますが、いよいよ東京オリンピックの聖火リレーが三月二十六日に福島県をスタートし、佐賀県は五月十日・十一日に通過する予定です。

皆さんは、どのスポーツに関心がありますか？観戦チケットは当たりましたか？・・・